

DXR 療法







対象疾患	軟部組織肉腫
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日														
							1	2	3	...	21										
RP.1		グラニセトン	3mg	点滴静注	メイン	30分	○														
		デキサート	9.9mg																		
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○														
	○	ドキシソルピシン	75mg/m ²				輸液ポンプ使用禁														
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	15分	○														

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

Eribulin (悪性軟部腫瘍)


対象疾患	悪性軟部腫瘍
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	軽度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日																		
							1	2	3	...	21														
RP.1		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○																		
		デキサート	3.3mg																						
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○																		
	○	ハラヴェン	1.4mg/m ²																						
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○																		

<参考>軽度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
デキサメタゾン (デカドロン注射液)	 (6.6mg)				

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

トラベクテジン療法






対象疾患	軟部組織肉腫
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日										
							1	2	3	...	21						
RP.1		グラニセトロン	3mg	中心静脈	メイン	30分	○										
		デキサート	16.5mg														
RP.3		生理食塩液	100mL	中心静脈	メイン	30分	○										
RP.2		生理食塩液	1000mL	中心静脈	メイン	24時間	○										
	○	ヨンデリス	1.2mg/m ²														
RP.3		生理食塩液	50mL	中心静脈	メイン	全開	○										

<参考>中等度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)				

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

※オキサリプラチン、イホスファミド、イリノテカン、メトトレキサートなど使用時はアプレピタント(イメンドカプセル等)の使用を考慮する。